

2027年度

大阪大学大学院医学系研究科
修士課程医科学専攻学生募集要項

入学試験の実施にあたり、変更や通知がある場合は本研究科ウェブサイトに掲載しますので、各自で必ず確認してください。

志願者は出願前に、指導を希望する教員と連絡を取ってください。

本研究科ウェブサイト

https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_master

大阪大学大学院医学系研究科

2027年度大阪大学大学院医学系研究科

修士課程医科学専攻学生募集要項

大阪大学大学院医学系研究科アドミッション・ポリシー

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーをうけ、医学系研究科では、教育目標に定める人材を育成するため、次の知識の内容と水準を満たし、世界の医学、医療、および生命科学の発展への貢献を目指す人、健康で質の高い生活を保障する地域医療の担い手を目指す人、次世代を担う優秀な人材の育成に尽力したいと望む人を求めています。

- (1) 欧文論文の読解ができる英語の能力を有している。
- (2) 自然科学諸分野の大学の教養レベルの知識を習得していることに加え、学部レベル以上の専門基礎知識を有している。
- (3) 医学研究に必要な優れた目的意識と倫理感を備えている。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、修士課程入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

英語外部試験で(1)を評価し、口頭試問及び提出書類等で(2)、(3)を評価し、選抜を行います。

【安全保障輸出管理について】

本学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき「大阪大学安全保障輸出管理規程」を定めて貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、合格しても入学が認められない場合や、希望する教育が受けられない又は研究が実施できない等の制限がかかる場合がありますのでご注意ください。詳細については、ウェブサイトを参照してください。

(日本語) https://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/secur_exp/outline

(英語) https://www.osaka-u.ac.jp/en/research/secur_exp/outline

(本件担当)

研究推進部研究推進課

安全保障輸出管理・研究インテグリティ担当

Mail : s-export@ml.office.osaka-u.ac.jp

1. 日 程

出願期間	2026年7月6日（月）～2026年7月9日（木）	
検定料納入期間	2026年6月1日（月）午前9時～ 2026年7月9日（木）午後5時	
試験日	口頭試問	2026年8月14日（金）
出願書類提出先 書留郵便で郵送（海外からは国際クーリエサービス）又は持参	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番2号 大阪大学医学系研究科教務課学生支援係 〔持参の場合の窓口受付〕 平日 9:00～12:00, 13:00～17:00	
合格発表	2026年9月15日（火）13時30分以降 本研究科ウェブサイトにて掲示 https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_master	

※ 受付期間終了後に到着した出願書類については、2026年7月7日（火）以前の発信局（日本国内）消印がある書留郵便に限り受理します。日本国外からの出願は上記の出願期間最終日を必着期限とします。

※ 口頭試問は第1段階選抜（p9参照）合格者のみに実施します。

※ 台風等の悪天候により令和8年8月14日（金）午前6時の時点で大阪府吹田市に「暴風警報」又は「特別警報」発令の場合は、口頭試問を令和8年8月28日（金）に順延します。

その他、感染症の蔓延や天災等のやむを得ない理由により試験日に実施できない場合も、上記のとおり順延します。

詳細は本学部ウェブサイトおよび気象庁の発表を各自確認してください。

2. 専攻及び募集人員

専 攻	コース名	募集人員
医科学専攻	医科学コース 未来臨床科学コース 公衆衛生学コース 死因究明学コース	20人

※募集人員は、医科学コース・未来臨床科学コース・公衆衛生学コース・死因究明学コースごとの人数ではなく、医科学専攻全体で募集している人数です。

※入学後、希望に応じてコース分けを行います。

3. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学又は専門職大学を卒業した者又は 2027 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者又は 2027 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校^(*1)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること^(*2)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月までに授与される見込みの者
 - *1 その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
 - *2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- (7) 専修学校の専門課程（修業年数が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第 125 条の 2 第 1 項に規定する特定専門課程をいう。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は 2027 年 3 月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの【「4. 資格認定審査」参照】
- (10) 大学又は専門職大学に 3 年以上在学し、本研究科において所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの【「4. 資格認定審査」参照】
- (11) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本研究科において所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められたもの【「4. 資格認定審査」参照】
- (12) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同様以上の学力があると認められた者で、2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの【「4. 資格認定審査」参照】

注) 出願資格 (1) (10) (12) の「大学」「専門職大学」とは、学校教育法第 83 条の定める日本国内の大学、専門職大学を示す。

4. 資格認定審査

出願資格(9) (10) (11) (12)*のいずれかにより出願する者は、出願に先立ち個別の資格認定審査（以下、「認定審査」という）を受ける必要があります。認定審査合格者のみ出願することができます。

※出願資格（12）で認定審査を受けることのできる者の学歴・研究期間（経験年数）等の基準

最 終 学 歴	最終学歴以降の研究期間（経験年数）等
(ア) 修業年限2年の短期大学卒業生	2年以上
(イ) 修業年限3年の短期大学卒業生	1年以上
(ウ) 高等専門学校の卒業生	2年以上
(エ) 修業年限が2年以上の専修学校の専門課程の卒業生	大学卒業までの最短修業年限（16年）から専門課程を置く専修学校の修了までの最短修業年限を控除した期間以上
(オ) 外国の大学の日本校、外国人学校、専修学校（専門課程を除く）、各種学校その他国内外の教育施設の卒業生又は修了者	大学卒業までの最短修業年数（16年）から最終学校卒業又は修了までの最短修業年数（入学資格を同一とする学校を複数卒業又は修了している場合は、修業年限が最長のもののみ採用）を控除した期間以上
(カ) 上記（ア）から（オ）に掲げる学校の退学者および大学の退学者	大学卒業までの最短修業年限（16年）から当該退学した学校の退学時までの修業年数を控除した期間以上

注) 研究期間（経験年数）とは、次の期間を合算したものをいいます。

(2027年3月31日までの見込み期間に該当があれば、計算に含めてください。)

- (A) 大学又は短期大学において、研究生として在学した期間
- (B) 短期大学又は高等専門学校に置かれた専攻科に在学した期間
- (C) 大学、短期大学、官公庁、研究所、会社等において教育又は研究部門で教育職又は研究職に従事した期間
- (D) その他、(A) (B) (C) に準じた期間

① 資格認定審査日程

資格認定審査 申請受付	日時	2026年5月18日（月）～2026年5月20日（水）17時まで
	場所	〒565-0871 吹田市山田丘2番2号 大阪大学医学系研究科教務課学生支援係 *申請書類を持参または郵送(書留郵便)してください。 *海外からは、発送状況が追跡可能な国際クーリエサービスで郵送してください。 *封筒には「資格認定審査申請書類在中」と朱書きしてください。

* 受付期間終了後に到着した申請書類については、2026年5月18日（月）以前の発信局（日本国内）消印がある書留郵便に限り受理します。日本国外からの出願は資格認定審査申請受付期間最終日を必着期限とします。認定審査申請者には資格認定審査可否通知書を出願期間までに送付します。可否の問い合わせには応じません。

② 資格認定審査申請書類 ※提出された書類は返却しません。

書類名	該当者（出願資格）				備考
	(9)	(10)	(11)	(12)	
資格認定審査申請書	✓	✓	✓	✓	所定様式 （本研究科ウェブサイト[https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_master]参照）
研究業績調書	✓	✓	✓	✓	
研究論文等	✓	✓	✓	✓	
卒業・修了証明書			✓	✓	※ 資格認定審査申請書に記載した大学（学部）・大学院・研究機関等の全てについて必要。 ※ 出身学校長又は当該研究機関等の長が日本語又は英語で作成したもの。
成績証明書	✓	✓	✓	✓	
研究期間証明書				✓	
在学期間証明書	✓	✓	✓	✓	
シラバス・履修概要等	✓	✓			
合否通知用封筒	✓	✓	✓	✓	長形3号サイズの封筒に <u>460円切手を貼付し</u> 、日本国内の郵便番号・住所・氏名を明記してください。

5. 出 願 手 続

志願者は下記の出願書類を、医学系研究科教務課学生支援係まで持参又は書留郵便（海外からは、発送状況が追跡可能な国際クーリエサービス）にて郵送してください。

【出願書類及びその他の必要書類に関する注意事項】

- 本研究科所定の出願書類（*印）は、本研究科ウェブサイトよりダウンロードしてください。
- https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_master
- 本研究科所定様式は、A4サイズの白い普通紙に片面印刷してください。
- 書類はすべて**原本**を提出してください。
- 窓口提出の場合も、ご自身で用意した角形2号の封筒の表に、本研究科所定の「出願書類封筒ラベル」を貼付し（切手不要）差出人欄に住所、氏名を記入し、出願書類全てを入れて提出してください。
- 日本語または英語以外の証明書は、学校・大使館・領事館などの翻訳証明（公印、機関の長のサイン、機関のオフィシャルシールなどが必要）を付した、日本語または英語への翻訳を提出してください。
- 提出された書類は返却しません。
- 出願に際して不明の点があれば医学系研究科教務課学生支援係（i-kyomu-gakuseishien@office.osaka-u.ac.jp）へお問い合わせください。

出願書類	備 考
入 学 願 書	《本研究科所定の様式*》
志 望 理 由 書 研 究 内 容 調 査 書	《本研究科所定の様式*》
受 験 票 写 真	《本研究科所定の様式*》 3ヶ月以内に撮影した志願者の写真を所定欄に貼付してください。（写真の大きさ 縦 4.5cm、横 3.5cm）
T O E F L i B T、 IELTS academic module、 TOEIC Listening & Reading Test の 成 績 票 【いずれか1つのみ】	2024年7月以降実施分のスコアのみ有効。 -TOEFL の場合 Test Taker Score Report【注】 -IELTS の場合 Test Report Form -TOEIC の場合 Official Score Certificate の原本（紙面）を提出してください。 <u>原本（紙面）以外は受け付けません</u> 。個人のアカウントページ等からダウンロード（印刷）したスコアは受理しません。 *団体特別受験制度 TOEFL ITP, IELTS General Training Module および TOEIC IP は利用できません。 *TOEFL iBT テストの場合、Test Date Scores のみを出願スコアとして使用します。MyBest Scores および TOEFL iBT Home Edition は利用できません。 *TOEFL の My TOEFL Home(個人アカウントページ)からダウンロード（印刷）した「Test Taker Score Report」も有効です。 *提出されたスコアは返却しません。 *複数のスコアを提出することは認められません。 *スコアの証明に顔写真のないものは無効です。 * <u>出願期間後のスコア提出は一切受け付けません</u> 。 *TOEFL、IELTS 及び TOEIC の各スコアは手元に届くまで一定期間を要するので、出願に先立ち余裕を持って受験してください。 *TOEFL のスコアを ETS(Educational Testing Service) から直接送付す

出願書類	備 考
	<p>る場合の機関 コードは C723 です。ただし、ETS や IELTS テストセンター等から直接スコアを送付した場合、誤配や配達遅延等があっても出願期間の延長はできませんので、スコアはご自身の出願書類に同封して提出することをお勧めしています。</p> <p>【注】紙面による Test Taker Score Report の発行には、事前の申込が必要です。詳しくは、ETS ホームページにて確認してください。</p>
卒業（見込）証明書 修了（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学長等が作成したもの。（出身大学長等の公印、サインがある証明書、または偽造防止用紙による証明書で、日本語または英語によるもの） 複数の大学及び大学院の課程修了（見込みを含む）者は、該当する<u>全ての学部と大学院についてそれぞれ</u>証明書を提出してください。 海外の大学等の卒業・修了者で、証明書内に学位名が記載されていない場合は、併せて学位に関する証明書の提出が必要です。
【 該 当 者 の み 】 学 位 授 与 証 明 書	<p>大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者は、同機構が発行した学位授与証明書を提出してください。</p>
【 該 当 者 の み 】 学 位 授 与 申 請 受 理 証 明 書	<p>大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与見込（学位授与申請中）の者は、同機構が発行した学位授与申請受理証明書を提出してください。</p>
成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学長等が作成したもの。（出身大学長等の公印、サインがある証明書、または偽造防止用紙による証明書で、日本語または英語によるもの） 複数の大学及び大学院の課程修了（見込みを含む）者は、該当する<u>全ての学部と大学院についてそれぞれ</u>証明書を提出してください。 大学等の編入学者は編入学前の学校の成績証明書も併せて提出してください（退学により編入学前の学校を離籍した場合も含む）。
検 定 料 収 納 証 明 書	<p>検定料 30,000 円を「検定料納入システム」により納入してください。納入後、「検定料納入システム」から、「検定料収納証明書」を出力して提出してください。</p> <p>○検定料納入システム https://e-apply.jp/n/osaka-u-payment</p> <p>検定料納入システムの使用方法については、以下の本研究科ウェブサイトを参照してください。 https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_master</p> <p>なお、検定料納入時にシステム手数料が別途かかります。 * 国費外国人留学生として入学する者は、検定料は不要です。</p>
あ て 名 票	<p>《 本研究科所定の様式 * 》</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学手続関係資料の送付等、大学からの連絡に使用します。 重要書類は書留郵便等にて送付しますので、確実に受取が可能な日本国内の住所（自宅のほか、研究室、勤務先等も可）を記入してください。海外在住者は、志望教室や日本在住の友人等に代理受取を依頼してください。 <p>* 出願後に住所変更等がある場合はすみやかに医学系研究科教務課学生支援係に連絡してください。</p>

出願書類	備 考
第1段階選抜結果通知 送 付 用 封 筒	<p>《本研究科所定の様式*》</p> <p>ご自身で用意した長形3号の封筒に、本研究科所定の「第1段階選抜結果通知送付用封筒ラベル」と、460円の郵便切手を貼付してください。 *書留郵便等にて送付しますので、確実に受取が可能な日本国内の住所（自宅のほか、研究室、勤務先等も可）を記入してください。</p>
受 入 承 諾 書	<p>《本研究科所定の様式*》</p> <p>志望教室の教室主任の受入承諾書を提出してください。</p>
出 願 書 類 チ ェ ッ ク リ ス ト	<p>《本研究科所定の様式*》</p>
出 願 書 類 送 付 用 封 筒	<p>《本研究科所定の様式*》</p> <p>ご自身で用意した角形2号の封筒の表に、本研究科所定の「出願書類封筒ラベル」を貼付し、出願書類全てを入れてください。 *窓口提出の方も必要です。</p>
【 該 当 者 の み 】 氏名に関する証明書	<p>下記 (a) ・ (b) のいずれかの該当者</p> <p>(a) 入学願書に記入した氏名と提出する証明書等の氏名表記が異なる言語で記載されている場合は、<u>同一人物であることを証明する書類</u>を添付してください。</p> <p>(b) 改姓（改名）により出身学校在籍時の氏名や提出する証明書等に記載された氏名が異なる場合は、変更の事実を示す<u>公的証明書類</u>（戸籍抄本等）を添付してください。</p>
【 該 当 者 の み 】 パスポートと在留カード／特別永住者証明書の両面コピー	<p>外国籍の者でパスポート所持者は、顔写真と氏名のページのコピーを提出してください。</p> <p>既に渡日し、住民登録を行っている外国籍の者は、在留資格、在留期間が記載されたものを提出してください。</p>
【 該 当 者 の み 】 国費外国人留学生証明書	<p>国費外国人留学生（MEXT Scholarship Student）の場合は提出してください。</p>
【 該 当 者 の み 】 外国政府からの奨学金等支給に関する証明書	<p>日本国以外の外国政府から奨学金等を支給される者は、奨学金等の支給に関する証明書を提出してください。</p>
【 該 当 者 の み 】 受 験 許 可 書 (入 学 承 諾 書)	<p>《本研究科所定の様式*》</p> <p>出願時において官公庁、研究所、企業、病院等に勤務し、入学後もその職を有すること（社会人入学）を希望する者は、勤務先機関の代表者が発行した「受験許可書（入学承諾書）」を提出してください。（退職予定者は提出不要）</p>

◆ その他の必要書類（出願時に提出しないもの）

第1段階選抜合格者のみ 2026年8月14日（金）に持参する書類	
必要書類	備 考
口頭試問調書（6部）	<p>《本研究科所定の様式*》必ず6部用意してください。</p> <p>本研究科ウェブサイトからダウンロードし、A4サイズ（表面のみ）1枚にまとめたものを6部プリントアウトして提出してください。</p> <p>サイズ・枚数の改変は不可とします。</p> <p>*使用言語は日本語、英語に限ります。</p> <p>*本研究科ウェブサイト ダウンロードリンク： https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_master</p> <p>【口頭試問（p9,10参照）受験時に、担当者の指示に従って、提出してください。】</p>

6. 選抜方法及び配点

- (1) 英語（TOEFL、IELTS または TOEIC のスコアを利用）、志望理由書／研究内容調書、その他提出書類によって、第1段階の選抜を行い、その合格者に対して口頭試問を実施します。
 口頭試問の受験資格者には「受験票」及び「受験者注意事項」等を、不合格者には「不合格通知」を簡易書留郵便（2026年7月30日に本研究科から発送予定）で送付します。
- (2) 最終合格者は学力検査（英語・口頭試問）、志望理由書／研究内容調書、その他提出書類を総合して判定します。
- (3) 総合判定の結果によっては、募集人員に係わらず入学を許可しないことがあります。
- (4) 配点

英語	口頭試問	総点
40	40	80

7. 学力検査等の科目・期日及び場所

学力検査は、医学部医学科講義棟において次のとおり実施します。

月 日（曜）	時 間	科 目	備 考
2026年8月14日（金）	10時00分～18時00分	口頭試問	口頭試問調書（様式）6部を持参してください。
		英 語	TOEFL,IELTSまたはTOEICのスコアを本研究科が定める換算式に基づいて換算

（注1）受験者は、試験開始の45分前から試験場（医学部講義棟）に入場可能です。試験開始の30分前までに指定の座席に着席してください。

（注2）試験場に入場する際、本人確認のため、受験票を提示してください。

（注3）遅刻した場合は、試験開始後30分までであれば試験場入口の係員に申し出てください。試験開始30分経過後は、原則として受験を認めません。

※集合時刻等の詳細は、第1段階選抜合格者に送付する「受験者注意事項」で指示します。

【口頭試問について】

口頭試問では、受験者が(1)大学の学部等で行ったもしくは行っている研究、あるいは(2)入学してから行いたい研究について、その理解度と基となる知識を学んでいるかを問います。原則は(1)について、もし(1)に該当するものがない場合は(2)について問います。

口頭試問における発表時間は7分です。発表後に面接員による質疑応答があります。

評価のポイントは、一般的なペーパーテストで答えるような網羅的な知識の量ではありません。大学院生として研究を行う上での熱意、姿勢、創造力、判断力、論理的思考力などの資質を受験者が有しているかがポイントとなります。

(1)の場合、大学の学部等で行った、もしくは行っている研究テーマについて、目的、重要性、研究方法とその原理、応用の可能性、社会的な意義などを自分自身の言葉で詳細にかつ論理的に語れるようにしておいてください。

(2)の場合、(1)と同様の項目を述べながら、研究内容をできるだけ具体的かつ論理的に説明できるようにしておいてください。

(1)および(2)いずれの場合も、適宜図表などを用いて内容を口頭試問調書(様式)表面のみ1枚にまとめたものを**6部印刷し口頭試問当日(2026年8月14日(金))に持参し担当者の指示に従って、提出してください。**手書き、又はパソコンのいずれで作成しても構いませんが、様式の下線以下に収まるようにしてください。使用言語は日本語、英語に限ります。

(注)口頭試問で、受験者が使用できる資料は、口頭試問調書のみです。受験者が提出した口頭試問調書6部のうち、1部を本人に渡しますので、それに従い、発表を行ってください。ただし、受験者本人用の口頭試問調書を指定することはできません。なお、試験室への発表用メモの持ち込みは不可で、自分の言葉で語ってください。

また、電子的表示装置(パソコン、タブレット等)を使用すること及び面接員に口頭試問調書(様式)以外の資料等を配付することは不可とします。

8. 合格者発表

本要項2ページに記載の日程の13時30分以降に本研究科ウェブサイト(https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_master)へ合格者の受験番号を掲示するとともに、合格通知書を出願時に提出された「あて名票」の住所へ簡易書留郵便で送付します。同日までに転居等による合格通知書の送付先の変更が必要な場合は、2026年8月31日(月)までに医学系研究科教務課学生支援係へ申し出てください。(※不合格者への通知は行いません。)なお、可否の問合せには応じません。

入学手続者数が募集人員に満たない場合には、1月中旬～3月上旬に追加合格の手続きをとることがあります。その場合は、願書に記載されている電話番号・メールアドレスに個別に連絡します。

9. 入学料及び授業料（2027年度予定）

入学料 282,000円

授業料〔前・後期共に〕 267,900円（年額 535,800円）

- * 入学料・授業料の金額については、変更することがあります。
- * 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- * 国費外国人留学生として入学する者は入学料、授業料を納入する必要はありません。

大阪大学では、研究力の強化と留学生の受入増進のために大学院入学試験において優秀であると認められる私費外国人留学生に対する授業料免除制度（特待留学生授業料免除）を実施しています。

この入試は特待留学生授業料免除の対象となっております。本入試に合格し、優秀と認められた留学生は本制度による授業料免除の候補者となります。

10. 入学手続

入学手続期間は2027年2月下旬の予定です。入学手続関係資料は、合格者に対して2027年1月下旬に、出願時に提出されたあて名票記載の住所に郵送します。

- * あて名票には、確実に受取が可能な住所を記載し、出願後に住所変更等がある場合はすみやかに医学系研究科教務課学生支援係に連絡してください。
- * 入学手続関係書類にて指示された所定の期間内に入学手続を行わない場合は、理由の如何を問わず入学を辞退したものとして取り扱います。
- * 本研究科修士課程は医師初期臨床研修中の者の入学を認めていないため、該当者は入学時まで臨床研修の休止又は中止が必要です。
- * 他大学及び大阪大学の他の学部・研究科等（以下「他大学等」という）に在籍したまま本研究科に入学することはできません。本研究科入学に際し、他大学等を離籍するための必要手続きについては離籍する他大学等に確認してください。なお、本研究科入学後に他大学等の離籍を証明する書類（退学証明書、卒業証明書など）の提出が必要となります。

11. 入試成績の開示

入試成績については、受験者本人からの請求に基づき、「英語」、「口頭試問」の総得点を開示します。ただし、第1段階選抜不合格者、口頭試問欠席者からの請求は受け付けません。

請求期間 ※期間外請求無効

2026年9月18日（金）～2026年9月25日（金）【必着】

請求方法

「修士課程医科学専攻入学試験個人成績開示請求」と朱書きした封筒に下記の書類を封入のうえ、医学系研究科教務課学生支援係宛てに請求してください。

- ・ 入学試験個人成績開示依頼書（所定様式）
本研究科ウェブサイトからダウンロードしてください。（2026年9月中旬掲載予定）
https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_master
- ・ 受験票
- ・ 請求者（受験者本人）の郵便番号、住所、氏名を明記し、460円分の切手を貼付した長形3号の封筒

12. 注意事項

- (1) 出願書類に虚偽の記載があれば、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (2) 見込みの出願資格で出願した者が、2027年3月31日までに当該資格を取得できなかった場合は、入学を認めません。
- (3) 障がい等のある者で、受験および修学に際して特別な配慮を必要とする者は、2026年6月29日（月）までに医学系研究科教務課学生支援係へ申し出てください。
- (4) 出願手続後は、入学願書等の記載事項の変更を認めません。
- (5) 提出された出願書類についてはいかなる理由があっても返却しません。
- (6) 納入済の検定料は、次の場合を除き返還できません。
 - ① 出願したが出願資格がなかった場合
 - ② 出願書類受付期間後に出願書類が到着し、受理できなかった場合
 - ③ 出願書類に不備があり受理されなかった場合
 - ④ 検定料を払い込んだが本研究科に出願しなかった場合
 - ⑤ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合上記に該当し返還を希望する場合は、下記ウェブサイトの記載に従って、医学系研究科教務課学生支援係（i-kyomu-gakuseishien@office.osaka-u.ac.jp）宛て請求してください。
- (7) 受験の際は、受験票を必ず持参してください。なお、受験票は、入学に関する諸手続の際にも必要なので、合格後も紛失しないよう保管してください。
- (8) 受験のための宿泊施設等の斡旋はしません。
- (9) 自動車及び自動二輪車（原動機付自転車を含む）での大学構内への入構はできません。
- (10) 本研究科修士課程医科学専攻修了見込者が本研究科博士課程医学専攻に進学を希望する場合は、語学試験が免除されます。
- (11) 災害や感染症の拡大などの緊急事態の発生に伴う入学試験への影響とその対応については、必要に応じて医学系研究科ウェブサイト（下記参照）に掲載しますので、各自ウェブサイトで必ず確認してください。

大阪大学医学系研究科ウェブサイト

https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_master

13. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。

なお、合格者については、入学後に履修可能なプログラムの案内を行うために利用することがあります。

また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料徴収に関する業務」を行うためにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係（奨学金業務等）」のために利用します。なお、合格者については、「入学後に履修可能なプログラムの履修者選抜」に利用することがあります。
- (3) 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

大阪大学大学院医学系研究科修士課程医科学専攻について

医学は人間が健全な生活を営むための基盤を提供する学問です。近代医学は生物学や物理学、化学、工学など自然科学の進歩の成果を結集して、目ざましいスピードで発展してきました。現在では医学の研究や医療技術の開発研究は医師だけが行うのではなく、大学で医学以外の自然科学系の学問を専攻した研究者と医師とがチームを組んで行う事が多くなっています。そしてこの傾向は今後も益々増加するものと思われまます。つまり現代の医科学を大きく推進させるためには、高度に専門化した知識と技術の結集が必須になっています。

医科学修士課程の制度は、昭和 54 年にわが国で初めて大阪大学と筑波大学医学研究科に設置されました。これは医学部以外の大学学部を卒業した学生に最新の医科学の知識を授け、研究を体験させる制度です。

その後、医学・生物学の進歩の加速化が益々進み、大学での研究者養成はもとより、製薬産業やバイオテクノロジー関連の企業ではミッション達成のため、社員に医学研究の最前線の知識を再教育する必要が出てきました。

一方で、医学には公衆衛生学、環境医学、法医学、医の倫理学、公共政策学など社会科学等の方法論を用いて研究する学科も含まれています。これからの医学研究分野においては、大学で社会科学、人文科学を専攻した人も活躍する領域が大きく広がるものと期待されます。

大阪大学医学系研究科では、これらの多方面の社会的要請に応え、多様なカリキュラムの提供と高度な人材育成を目的として平成 27 年度より「医科学コース」、「公衆衛生学コース」、「死因究明学コース」を設けています。さらに、平成 29 年度からは新たに「未来臨床科学コース」を設置しました。いずれのコースを選択しても、入学後約 1 か月の間、講義と実習を履修し（社会人学生は 2 年間で履修可）、幅広い医学の基礎知識を身につけることとなります。その後、「医科学コース」と「未来臨床科学コース」の学生は、本研究科のいずれかの研究室、「公衆衛生学コース」と「死因究明学コース」の学生は、本研究科社会医学講座の研究室に入り、研究指導を受けることとなります。

「医科学コース」は、実験医科学プログラムと臨床データ研究プログラムから成ります。所属研究室での実験医科学や臨床データを駆使した研究活動のほか、学内外での開催セミナー、専門分野をまたがる研究討論、英語講義・発表トレーニング等を通じて、医科学の基礎と応用を学びます。本コースは、実験医科学や臨床研究をリードする研究者の養成を目指します。

「未来臨床科学コース」は、スポーツ医科学研究プログラムから成ります。スポーツ医科学研究プログラムでは、スポーツ・健康増進に関わる医学・科学的研究手法を学びます。本コースは、将来のスポーツ界のリーダーやスポーツ研究指導者の養成を目指します。「公衆衛生学コース」は、公衆衛生学プログラム、医学倫理・研究ガバナンスプログラム（※）、医学統計プログラムから成ります。所属研究室での研究活動と並行して、世界基準を満たした疫学、医学統計、医学倫理、社会学・行動科学、保健医療政策学、環境保健学、グローバルヘルス等の分野を網羅した講義、演習やフィールド実習を通じて、公衆衛生と関連諸分野の基本と応用を学びます。本コースは、わが国の少子超高齢化に伴い複雑化する健康医療問題やグローバルヘルスに対処できる公衆衛生、医学倫理、医学統計の実務家や研究者の養成を目指します。

「死因究明学コース」では、所属研究室での研究活動と並行して、世界初の科目である死因診断学および死後（死亡時）画像診断学の講義、医学部の臨床実習に相当する診断実地演習や e-learning による演習を通じて、死因究明に関する知識を学び、死因診断力を養成します。本コースは、わが国のみならず世界で活躍する死因究明に関する実務家、研究者の養成を目指します。

1 学年の入学定員は 20 名で、これまでの入学者の大学出身学部の内訳は、理学部、工学部、薬学部、農学部などいわゆる自然科学系の学部出身者の他に、医師、薬剤師、看護師・保健師、栄養士、検査技師、理学・作業療法士、社会科学系等の出身者も増えています。いずれのコースも、2 年次の 2 月に研究成果を修士論文にまとめて提出し、その内容を口頭で発表し、修士の学位審査を受けることになっています。合格すれば、「医科学コース」及び「未来臨床科学コース」の学生は、「修士（医科学）/Master of Medical Science」、「公衆衛生学コース」及び「死因究明学コース」の学生は、「修士（公衆衛生学）/Master of Public Health」が授与されます。

本課程を修了した学生のうち、約半数の学生は大学院医学系研究科博士課程に進学しさらに研究を続けています。その他の約半数の学生は就職し、その主な就職先は製薬企業、バイオテクノロジー関連企業、食品関係企業、健康関連企業、医療機器メーカー、コンサルティング企業、社会人学生においてはもとの就職先（行政機関、企業）です。

以上、修士課程医科学専攻では、時代の要請に応じて多様なコース、プログラムを用意しています。医科学を修め、将来各分野をリードする実務家、研究者を目指す諸君の応募を期待します。

※2027 年度は不開講のため募集しません。

※各コースに関する詳細は、医学系研究科ウェブサイトをご覧ください。

https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_master

医学系研究科ウェブサイト TOP > 入試・教育情報 > 入試情報 【修士課程】

大阪大学大学院医学系研究科修士課程医科学専攻 入学者・志願者数内訳(過去5年)

※2026年度については合格者データです。

1. 大学別入学者数

大学名	2022	2023	2024	2025	2026
北海道			1		
弘前		1			
東北		1			
筑波					1
宇都宮					1
千葉	1				
東京工業				1	
山梨	1				
静岡				1	
滋賀			1		
京都			2		
京都工芸繊維		1			1
大阪	4	2	3	1	1
神戸	1		2		
奈良女子		3	3		
鳥取	1	1			
広島		2	2	2	1
香川					1
熊本	1				
(国立大計)	9	11	14	5	6
横浜市立				2	
大阪府立		1			
兵庫県立		1		2	3
その他					1
(公立大計)	0	2	0	4	4
早稲田	1				
東京理科			1		1
明治		1			1
同志社	1	1		5	2
立命館	2	1		3	1
関西		1			
関西学院		1		1	2
その他	8	1	3	5	6
(私立大計)	12	6	4	14	13
大学改革支援・学位授与機構	1				
外国(アジア・中東)		1		4	3
外国(中国)		3	3		
外国(イギリス)					1
外国(オセアニア)	1				
外国(アメリカ・カナダ)		1			
外国(アフリカ)					
(外国大計)	1	5	3	4	4
資格認定審査					
(その他等計)	0	0	0	0	0
合計	23	24	21	27	27

2. 学部別入学者数

学部名	2022	2023	2024	2025	2026
法	1				
文		1			
人間科学	1				1
経済・経営	1		1		1
理		4	5	6	4
理工	5			2	
工				2	1
基礎工		2	1	1	
情報科学		2	1		
データサイエンス			1		
生物理工					1
生命科学	1	1		1	2
生命医科学		1		4	1
バイオテクノロジー					
菌			1		
獣医					
農	2	1	2	2	3
薬	2	1	1	3	4
医(医学)			1		
医(保健)	3	2	3		
医(看護)					
医(獣医学)					
医(生命科学)	1	1			
医療(医療工学)					
保健科学					
看護					1
医療衛生		1			
医用工					1
生命環境学	1				
環境人間学					
保健福祉					1
総合科学					
総合リハビリテーション学					
生活環境					1
教					
育					
その他	5	7	4	6	5
合計	23	24	21	27	27

3. 年度別志願者数

年度	志願者数
2022	68
2023	73
2024	57
2025	44
2026	52

大阪大学大学院医学系研究科 案内図

【大阪大学吹田キャンパス】



バス

いずれも「阪大医学部前」下車、徒歩約5分

阪急バス

千里中央発
「阪大本部前行」または
「茨木美穂ヶ丘行（阪急山田経由）」

近鉄バス

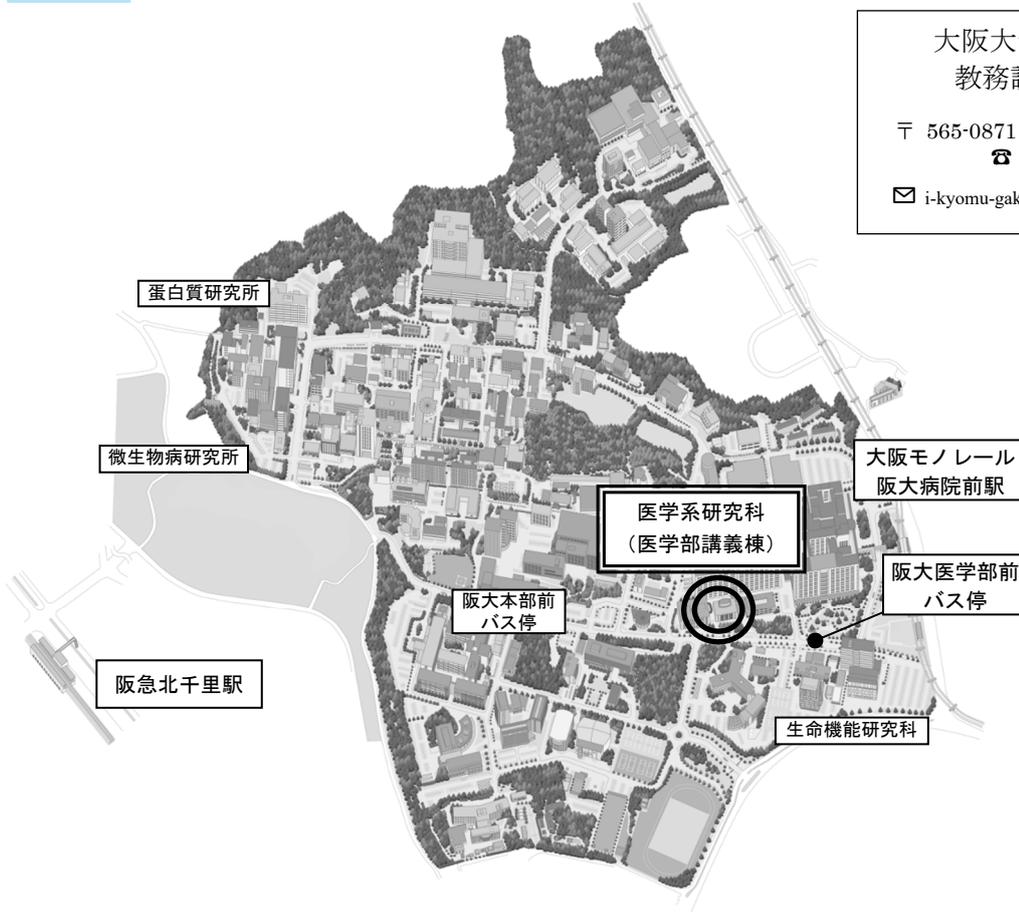
阪急茨木市駅発「阪大本部前行（JR茨木駅経由）」

モノレール

大阪モノレール 阪大病院前駅 下車
西へ徒歩約5分

電車

阪急電鉄千里線 北千里駅（終点）下車
東へ徒歩約30分



大阪大学医学系研究科
教務課 学生支援係
〒 565-0871 吹田市山田丘2番2号
☎ 06-6879-3342
✉ i-kyomu-gakuseishien@office.osaka-u.ac.jp